夕刊
九月十四日發行

思ひ出遠く　（下）

谷口正三

山家の冬は趣がある。屋敷の椿に目白が來る。楠の實のついた枝にとりもちをつけて椿の木の目白のよく止まりさうな枝に括つて置きよく生捕りにした。此の方法は鵯や、雀にも使つた。こんぼつと言ふ奴も仕掛けた。これは竹をしなわせて跳ね返る力を利用して餌を食ひに來た小鳥の足か頸を挾む仕掛になつてゐる極く原始的な方法だ。

捕るのが面白いのであつて食べた記憶は數へる程しかない。生捕りにしたものは竹で鳥籠を作つてその中に飼つた雪の上で遊ぶ時はふんごみと言つて、藁で編んだ長靴のやうなものを履くか丈の高い竹馬に乘つた。夜は圍炉裡の傍でいねむりをした。そして母にせきたてられて床を離つて作られた榾火燵に四方から足を突つ込んで寢るのだ。梨に限らず總て農産物は賣る爲に作るのではなく、正月や盆の下駄を購ふ爲に米を少しばかり町に賣りに出る位のものであつた。それは不便な山奥であつた故もあらう小學校に通ふにも一里餘りも歩かねばならなかつた。二尺も雪が積ればもう通學は出來ない。その分は夏には歸り途で毎日のやうに川で泳いだ。夏休には鎭守の杜に村の子供會部が集つて祠の前に筵を敷き藪蚊に喰されながら勉强した。

小學校に這入つた年であつたか村にはじめて電燈が引かれた。廣い家の中に十燭の電球を一つか二つ取りつけて、その明るさに吃驚した。子供心に町を戀しがりつゝ育つた田舍の十一年間が私の想ひ出の中で一番美しい。

師走の埃まひたつ街に我はゆき遂に住みつかむ大阪と思ふ

雜と雜音と尖つた人の心にふれながら疲れてゐる自分を見出す時、沁々と田舍の辛夷の花の匂を嗅ぎたいと思ふ。初めて歌を作りはじめた十三四才の時分は、その題材の殆んどをこの田舍の想ひ出の中に求めてゐたやうである。

9月15日
△空也上人寂す　年七十七△日本滿洲國獨立を承認す（昭和七）

9月16日
△後拾遺和歌集成る（應德三）△大杉榮殺さる（大正一二）△ノモンハン事件に關し日ソ停戰協定成立の旨發表（昭和一四）

○
運命は富を奪ふとも勇氣を奪ふことを得ず　セネカ

連續講談　異説赤穗浪士（いせつあかほろうし）

別題『異説赤穗義士』『赤穗誠忠錄』　〔8〕

桃川若燕　講　城木喬

上野の秘策

間もなくそれへ來る建部喜六、

『喜六、』

『ハツ、お召しでございますか』

『喜六、其方問ひ合せを致した時誰人が答へたか』

『上野介樣自身でお答へでございます。確にお精進料理と云ふ事を仰しやいました』

『ウム、左樣か』

『エ、建部殿、甚だ差出がましくはござれど、彌兵衛から申上げたき事、と申せはどうも精進料理とは合點が參らぬ故御同役の伊達家に一寸お問ひ合せを致したら如何にござらう』

『イヤ御尤もでござる、然らば――』

といふので直ちに伊達左京之亮殿お留守居に面會して問ひ合せると、

『明日お待ち受けの御料理は魚類と申す事、御當家へは如何お指圖をなされしかは知らざれど、當家へは上野介殿より御指揮は魚類でござる』

聞いた建部喜六が驚いた。佃を飛ぶ如く立ち歸つて堀部彌兵衛に此の事を云ふと

『それは一大事』

と二人揃つて御前に罷り出で内匠頭に言上する。

『さて〳〵驚き入つたこと、あゝ法り作

『オヽ美事であるな、さぞかし公卿堂上方もお喜びでござらう、上野も滿足に存じ申す』

『ハハッ恐れ入りました』

これから淺野内匠頭の方の檢分上野介を見るより、内匠頭は兩手を突き、

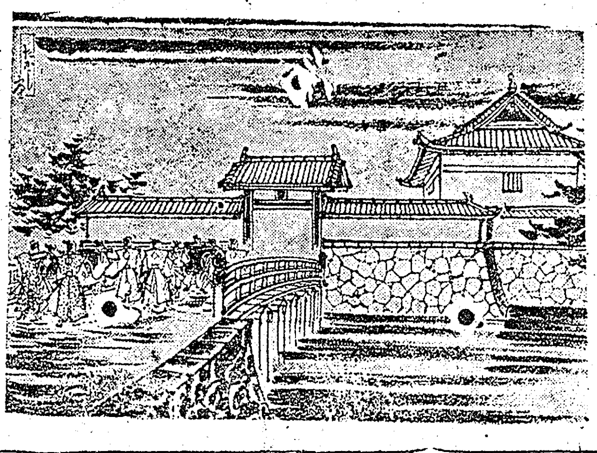
『恐れ乍ら昨日問ひ合せを致したるところ、御精進料理との事、命に依つて斯くの如く出來致しましてございます。御檢分の儀願ひ奉ります』

『イヤ内匠殿、これは御精進料理と見ゆるな』

『仰せ付けの通り』

『默れ〳〵、堂上公卿方御着座に成る唯の公卿衆が……御師匠すか、畏れ多くも一天萬乘の

いふ者は惡いざる金子を費ふものぢやな精進と魚類の二タ通りの料理を揃へて置いたらその入費は容易なことではない、先づ〳〵魚類の料理が行き届いて居ればそれで差間間ない、無駄な錢を斯樣に使ふ、この無駄な錢を活きた所へ使へば大變に無駄がないのだが、滴きた錢を使ふことを大名は知らぬと見ゆるな』



土田華岳氏送別句會　互選句集　（二）

『題　新涼』

○新涼や五樹のもとの茗荷畑　渡邊何鶴
○新涼のちまたにひさぐ黍匂ふ　同人
○新涼や書をふところに書肆を出づ　同人
秋田に近く婆風山あり
○新涼の婆風亭の窓にあらむ　同人
○新涼や箒を持つて庭に佇つ　佐久間松露
○新涼や夕風渡る丹後路　同人
○新涼や椽に食後の茶を喫す　同人
○新涼やきびの葉悄の枯れ見わて　猪狩果秋
○新涼にあかときの心地よく眠る　同人

おでん
たつた揚
やきとり
一平

西村屋藥局
電話三番です
藥品百貨と
寫眞機材料の店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

產婦人科
井坂醫院
平市田町　電五五九
見習看護婦入用

りんしつ病
専門藥
岩里別府淋藥　一週間分參圓（黑）五圓（赤）
痛みある病。熱ある病
岩里別府散　七包入　五十錢　十五包入　壹圓
製藥本舗　別府市岩里天然堂
代理店　阿康藥局
平市古鍛冶町一〇　電話四十四番　振替東京三〇〇六五番

内臓外科　整形外科　胃腸病　性病
内臓外科　脳脊髄病科　外科
整形外科　レントゲン科　理學療法科
内科　胃腸病科　肛門病科
花柳病科　皮膚科　泌尿器科
醫學博士　松村亭
醫學得業士　松村鐵郎
平市南町　電一〇七
松村醫院

男女車掌募集　數名
年齢16……19
未經驗者ニテモ可
給料其他委細面談
平市驛前
野崎交通自動車株式會社
電三四〇・三四三

中等學校制服……大特賣
高島屋の洋服
男女學生服新入荷
並ニ注文既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

吸入用酸素
純度99%
度量衡
モノサシ　マス　ハカリ
計量器
体温器　寒暖計
秤ノ取扱
關内藥局
電話四〇番

ミシンと洋裁
ミシン界の王座
陸軍省御用達
商工省撰定
滿州御指定
純國産ノ權威
アサヒミシン
ニツポンミシン
ニツサンミシン
パインミシン
シンガーミシン
現金、月賦、教授
型錄無代進呈
平市田町
シンガーミシン商會
◎中古高價買入

新秋の味覺
とんかつ專門の店
かの家
興亞の客を前にどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します
平市仲田町（電話四六五）

▼男女車掌募集
平市四丁目
鈴木自動車部
電話二一七番

音ガ生命
ビクターラヂオ
5R15　¥125
テレビアン
ナショナル
ビクター
代理店
富永ラヂオ店
〔電四九六〕

肺・肋膜・心臓・胃腸の弱い方に
血となり肉ともなる……
本場
生スッポンの「生血・生膽」を御勸め致します
平市六丁目通り
さかいや商店
生スッポン特約發賣
養鼈場　平市正月町一番地
スッポン黒燒、むし燒粉末もあります

開業
内臓外科
整形外科
平市大町二番地
内木外科醫院
醫學博士　内木宗八
（入院隨時）

故障の起らぬ
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

内臓外科
泌尿器科
レントゲン科
北川外科
醫學博士　北川芳夫
◎入院隨時
平市新川町（電四六四番）

親切第一で進むこと
消費大衆へのサーヴヰスに就て
市內米穀商が率先垂範

市內一部の商人が品物の手薄から何時となしに馴致された『賣つて遣る』底の誤つた氣位から往々客に對して親切を欠くが如き態度に出る場合あり、常に客に對して好感を與へねばならぬ商人として早速その改善を各方面から望まれて居る旨既報の通りであるが、恰も之と前後して

時節柄商人が横暴になつたと云ふ客側の先入主が誤解を生む場合もあらうが客との應對上營業者としても反省の餘地が絶無ではあるまいと云ふ處に考へ及んだ市內米穀商組合では昨十三日當本組合長以下幹部が會同手不足の爲の距離の關係で配達の需めに應じ兼ねる場合を除き、能ふ限り顧客へのサーヴヰスに努むること

を申し合せ大に時代即應の方針に出ることになつたとの事で、根が大衆の日常生活に最も普遍的の關係を以つ米穀商間の問題であり、需給兩者間に既報の如く仄か乍ら一重の距たりが出來たと見られる今日、斯の如き米商連の率先垂範は今後各種商人に對し全面的に好氣風を培はしめ顧客の感情を和ぐる上に極めて意義深いものあると觀られてゐる

小麥粉麵商組結成

平市外十三ケ町村の小麥粉麵小賣商は時局に順應一丸となつて『平小麥粉麵小賣商業組合』を結成することゝなり左記四氏が發起人となつて目下準備を進めてゐるが一口五十圓拂込みで二百口に上る見込み
市內四丁目百澤島奧、新川町吉田定太郎、一丁目白土七太郎、四丁目阿部唯次郎

。。。運轉手試驗。。。

平署では本縣自動車運轉免許試驗が左記日割で行はれるので目下願書受付中
△實地第一次十月八、九、十の三日間午前八時より信夫山試驗場
△實地第二次同月十一日午前八時より試驗場未定
△學科試驗同月十二日午前九時より福島市公會堂

平局關係架設電話
決定は十一月頃か

申請者一同しびれを切らしてゐる本年度の架設電話に關し隣縣茨城の分は此程既に決定されたので平局關係の分も近く發表あるものと鶴かに關係者間の注意を深めしたが右は所轄遞信局によつて必ずしも決定の期を同じうするものではなく仙台遞信局管內の分は前後の情勢を綜合し來る十一月頃になりさうだと云はれて居る

赤井小川商業地區組合結成
昨十三日縣に認可申請

小川赤井を區域とする商業者百四十八名から成る地區商業組合の結成は過般來着々計劃を進められて居たが此程愈よ組合員の出資一口三十圓四百二十口が纏つたので昨十三日付其筋に認可方を申請したが之と前後して同じ顔ぶれを會員に商業報國會が結成され大に時代即應の態勢を以て進むことになつた

篠山校長受講

篠山平第一小學校長は二十四日から四日間若松で縣下靑年學校長軍隊宿泊講習を受ける

アワビが漁れぬ
當面の救濟方を
劍濱住民から縣へ陳情

泉村字劍濱は往年鮑の產地として知られたものであるが近年殆んどその漁獲が無くなつたので藤原川の專用漁業權を持つ劍濱漁業共同組合員の窮乏甚しいので組合長瀧內與兵衛氏外組合幹部は十三日出縣直枝水產課長に會見組合員の生活保障と上流關係事業者からの損害賠償について陳情する所あつたので縣では直ちに係官を派遣し實地調査の上善後策を講ずる筈であるが藤原川に於ける鮑は大正年間には千八百貫乃至二千貫の漁獲があつたものが昨年は僅かに五百貫本年は僅かに百貫の漁獲となりまたカジメに十一萬貫も採取出來たのが本年は全く採取出來ないといふ悲慘な狀況にある

必勝の意氣凄く
磐中水泳軍水戸へ
明早朝颯爽と出發

水高水泳部主催の近縣中等學校水泳大會は明十五日午前九時から手備校プールに於て開催、毎回參加し來つた磐中では今年も井出主將以下粒ぞろひの九選手が渡邊恒夫、中柴光泰兩教諭引率の下に明早朝出發參加するが　從來に於ける磐中の成績は東京をはじめ近縣からの十二、三校中常に二、三位を占め、も一と息の處で制覇線上に浮び上る立場を續け、今年は特に過ぐる二高主催東北大會に惜しくも連覇成らず急轉第四位に落ちたに發奮し闘志愈よ燃えて爾來猛練習に精進し來つたことゝて明日の戰績は頗る刮目されてゐる

四倉青物組合役員

四倉青物商組合は此程結成、役員左の如く決定した
組合長菅波寅次郎、會計吉田周太
評議員鈴木松吉、須藤淺之助、鈴木長壽、箱崎忠衛外八名

馬玉聖觀世音祭

磐崎村馬玉鎭座の聖觀世音では十六日二千六百年を紀念して國防會並に皇軍の武運祈願祭を執行する

報德熱旺ん
矢部氏の講演
地方の認識を深む

地方の報德運動は從來一部の熱心家間にのみ知られゝ傾きがあつたが、佐々原信太郎報德社長の延長ともいふべき矢部善兵衛氏過般の講演により俄然各方面に反響者を出したものの如く商業報國會の如き今後日を共に各所に創設されるもこと

兩校長渡滿
教育視察の爲

平第三小學校赤津千里、湯本町入山井上紳爾兩校長は本縣教育會派遣の滿鮮教育視察員として三週間の豫定で二十七日出發する

陣中を聴く
(842)

達者相な母の寫眞に
勇氣百倍躍りあがる
市內南町出身　長谷川喜久君（通信）

時下益々國難の折其後市長殿には御變り無い事と遠い戰地の空より御喜び致して居ります。降つて私もお陰樣を以て至極元氣に東亞建設を目標に邁進致して居ります、他事乍ら御安心下さい。

先日は御多忙中にも拘ず、身に餘る感激の御手紙又過分なる御慰問の品お送り下され厚く有り難く御禮申上げます。月日の經つのは矢の如しとか、私も第一線部隊たる當地に在て今日迄夢の如く過ぎ去りました。顧ると幾多の意義深きものを感じます。×に派遣された時も自分の任務を無事遂行して再び元氣な姿で原所に歸つて來た時も何故か感激無量でした。

當方面も段々平和になつて來たとは謂へ、まだ〳〵支那の抗日の惡辣なる行動を目逃すことは出來ません、平和な東亞建設を夢みることは遠い事だらうと思はれます、併しこれが新年をとも再々兵士は銃後の人々と共に元氣一杯戰つて之をお願ひ、進んで行きます、銃後の皆樣も下さい。

平市の近況もお知らせて頂き願ふでゐるうちにあり〳〵とその状況が腦裡を掠めて行きます。そして久方振りに平の近況を知りその發展ぶりには只々驚く外ありません。

又先日は平市海軍部の人より慰問袋を頂きそのうちに私の家を撮つた寫眞が入つて居りました。久し振りに見る我が懷しき家、母さんの丈夫さうな姿を見て勇氣百倍、百萬の味方を得て躍びてしまひました。

多く銃後の人々には感謝の二字以外に何もありません。

色々語らない事を書きました。許された時間が迫りましたので今日はこれで失禮致します。

御健康をお祈り致します

何十年振りの神輿渡御
秋晴に恵まれ　八幡さまも大賑ひか

事變勃發以來武運祈願の參詣人で大賑ひを呈して居る『武の神』飯野八幡の例祭は澄空一碧の今十四日朝來市內男女中小學校の參拜から宵宮がはじまつたが明本祭りには古式流鏑馬の外下平窪有志の奉納獅子舞がある

今年は輝く皇紀二千六百年を奉祝して古老も曾て覺わがないといふ何十年振りの神輿渡御が明本祭りには附近を、明後日は市內平窪及び本町通りを神谷村向鎌田に至り出征氏子の武運を祈願する　參道の兩側に立ち並ぶ赤物、太鼓、生姜などの露店にガスの灯明るい幼き日の夢よみがへる宵祭風景から明本祭りの雜沓さはゞだ！例年以上だらうと豫想される

勤請は九百年前
悠遠な飯野八幡の縁起

後冷泉天皇の康平年間（一、七一八—一、七二四逆算八百八十二年）源頼義安倍貞任を征討せんとする際石清水八幡の神璽を奉じて之を勿來以北每五里の地に勸請した。本社及び楢葉八幡はその一で祭神譽田別命を祭る。越ねて後三年の役源義家再び此復して神領一千貫（一萬石餘）を寄進し、文治五年（一、八四九）源頼朝天下の總追捕使となり勢威大に奮つた時社頭の修繕を營み神領押妨を訊し、供僧社家を定めて信仰淺からぬものがあつた處元久年中（一、八六四—一、八六五）火災に罹り二位禪尼之を再興寄進して大に壯殿を極めたが慶長年間城主鳥居忠政新城を築くに當り赤和崎（アカメガサキ）物見岡より飯野平に地を下し社殿を造營して現在の地に遷座し之より飯野八幡と稱するに至つた鳥居侯移封の頃は崇信厚く好間村の中神領六百五十石餘を寄進した。岩城氏佐竹らと關ケ原の事に座し移封後鳥居氏に至り四百名に減じ後安藤家より好間村の內にて五十石の神領寄進あつたが維新の變革に際し自然廢絶に歸した。明治十三年縣社に昇格、以前の例祭陰暦八月十五日が今日の陽暦九月十五日に變つたのは明治四十一年からである

廿一代二百年の飯野家
始祖は伊賀光宗

八幡に奉仕する飯野氏は代々宮下なる高月台に館を構へ一時は諸侯と肩を比ぶるに至り子孫相繼で盛容氏から明治九年弟淡衛氏に讓られ今日の盛男氏に至る。伊賀光宗より今年に亘る二十一代、百九十三年である

秋空に愛馬は躍る
十八日工校敷地で競技

石城產馬畜產組合主催地方初の試みたる軍用保護馬鍛錬競技大會は十八日午前八時から平商西方の平工業學校敷地で開くが當日は環々障碍飛越等の諸競技及び騎者中の行進（平部騎馬）の外縣農務課河原田、成瀨兩技師により馬体審査、能力、執發、馳驟、缺點につき審査等級を決定する

石炭詐欺送局

石炭詐欺の嫌疑で平署に擧げられた飯野市內二丁目榊原溺（四〇）は昨十三日送局、立川檢事取調べの上起訴收容された
また同じ嫌疑の市內白銀町日野澤（三〇）並に根本品藏（三〇）兩名の身柄は明十五日送局される

綴駐在所落成

內郷村綴駐在所は和洋折衷の近代的設計により工費三千圓で御場隣りに新築落成した

寄附

市內才槌小路色川淸君は金十圓を市銃後奉公會へ寄附した

賀鈴木植田校長昇表彰
珠璽　小野務平

潔白清廉操志堅
榮遷隨處頌聲傳
育英多歲留勳績
今日旌彰豈偶然

平市慶弔錄

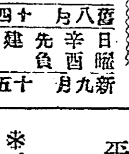
△出生　本町鍛冶町五好間村北好間字ホ排平八九會川五郎氏長女千代子さん
六間門五松本一郎氏三男宏君
（婚姻）靑森縣東津輕郡內郷村字綴井五九小山內三郎氏（三三）と田中町一村田ヨシ子さん（二九）

拈華微笑

お客さまは鄭重に！と市內米屋さんの申し合せ、時局柄微笑まし　極み
□
この率先垂範が全面的に及ぶことを期待する
□
神輿も幾十年ぶりで晴れの仕度となつた時局の進展。何十年目かで飯野八幡の神輿渡御
□
秋空一碧、新秋爽涼の宵宮。明本祭りは雜踏殺到の大賑ひだらう
□
恰も良夜日曜公休。惠まれた戰時下武神飯野八幡祭典

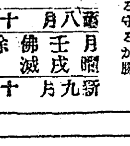
十五日（小名濱測候所觀測）
滿潮　前四、一五　後三、〇五
干潮　前一〇、一〇　後九、五〇

十六日
滿潮　前四、三五　後三、五〇
干潮　前一〇、四〇　後一〇、二〇



新曆九月十五日　日曜
舊曆八月十四日
辛酉　先負　建　房宿

▲一白　名利共に舉る吉日但し遠行は後日にすべし▲二黑　失意の底より追々と浮き上る活氣の滿る日▲三碧　質朴を主とし內を守るべし外に在ては不利▲四綠　妨ぐる者もあれど亦救ひの者もあるべし▲五黃　進退共に其の宜しきを得る日飾りを去べし▲六白　作戰計畫は成りても實だんに乏しきやうな日▲七赤　內外共に無事にして日上とも親しみ有べし▲八白　案ずるよりも諸事調子好く運び行く日なり▲九紫　進出せんとすれば却てげき退せらるゝ守るが勝



新曆九月十六日　月曜
舊曆八月十五日
壬戌　佛滅　除　心宿

▲一白　無理な發展を図るよりも整理する方が勝▲二黑　平和なれど無爲に終らぬ樣に努力すべき日▲三碧　質朴にして浮華に流れず物事手堅くすべし▲四綠　たい風中を走るが如し前後左右上下皆な注意▲五黃　物事しん重に一舉手一投足も疎にすべからず▲六白　木の實がめを出し追々のびる樣な運氣の日▲七赤　百ょ所人に用られ且つ引立てにも逢ふべし▲八白　退運の時期なるを以て無理を押すべからず▲九紫　確く信義を守る時は貴人の信用を受くべし

天氣豫報
小名濱測候所發表

今晩　南東の風晴
明日　南の風晴一時曇

廣告

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下　電六七四

体位向上の夏
新舞子や四倉の海は招く
海岸行は快適な木炭バス
今年は更に增車致しました
平……四倉　往復券二割引四十錢
御案內（團体は特に御相談に應じます）　自動車停留所からの道程
※ピクニック、船遊びには日本百貫
新舞子、仁井田浦へ……約二丁
※海水浴には……四倉海水浴場へ……約一丁
※波立藥師、鰐ケ淵海岸へは……約八丁
平市四丁目
合名會社平四倉乘合自動車
電話五九四

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長醫學士　金森五郎

科外生徒募集
一、邦文タイプライター科
●時代の尖端を行く昭和婦人の職業
入學は毎月　隨時
卒業期間　四ケ月（高女卒程度）十ケ月（小高卒程度）
一、洋裁科
入學は毎月　隨時
卒業期間　本科一ケ年　速成科六ケ月
●卒業者の就職紹介は各方面と連絡を有し斡旋致します
文部大臣認可
平陽女學校
（平市　電話四四五番）

外科一般
內臟外科
肛門病科
痔瘻科
泌尿生殖器科（婦人科　性病科）
專門
（入院隨意）
平市字鍛冶町
白土醫院
電二七九
看護婦及見習看護婦募集